

登録日 2020/9/29

登録番号 H&N015

腫瘍名 頭頸部がん

申請科 耳鼻咽喉科

投与スケジュール

PF+Pembrolizumab			21日毎 6コース (7コース目からキイトルーダのみPDまで継続)	
			1コース	2コース
			1 2 3 4 5 6	22 ... (day)
アプレピタント (Day1:125mg, Day2:80mg, Day3:80mg)	内服		↓ ↓ ↓	↓
① KCL注 硫酸マグネシウム 生理食塩水 (病棟払出し)	10 mEq 10 mEq 500 mL	点滴 60分	↓	↓
② デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
③ 生理食塩水 (前投薬用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
④ キイトルーダ 生理食塩水	200 mg 100 mL	点滴 30分	↓	↓
⑤ 生理食塩水 (キイトルーダ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
⑥ 20%マンニトール	300 mL	点滴 60分	↓	↓
⑦ シスプラチン 生理食塩水	100 mg/m ² 500 mL	点滴 120分	↓	↓
⑧ 5-FU 生理食塩水	1000 mg/m ² 500 mL	点滴 24時間	↓ ↓ ↓ ↓	↓
⑨ フィジオ140	500 mL	点滴 2時間	↓	↓
⑩ フィジオ140 (Day2の10時までキープして投与)	1000 mL	点滴 12時間	↓	↓
⑪ フィジオ140 デキサート プリンペラン (1日4本の輸液を24時間でキープして投与)	2000 mL 6.6 mg 20 mg	点滴 24時間	↓ ↓ ↓	↓

注意事項

- ・PD-L1発現率(CPS)が1未満であることが確認された患者においては、キイトルーダ以外の治療選択肢も考慮する。
- ・最大6コース施行し、7コース目から③～⑤のキイトルーダ単剤を継続する。
- ・アプレピタント内服が不可の場合、プロイメンドで代用する。
- ・腎機能や尿量に応じて、輸液または利尿剤を追加する。
- ・キイトルーダは、減量基準がないため、投与量は200mgの固定用量による投与
- ・キイトルーダは、インラインフィルターを使用(0.2～5μm)。
- ・同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。
- ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照

参考文献

- 1) Lancet, 394, 1915-1928 (2019).
- 2) ペムブロリズマブ最適使用推進ガイドライン～頭頸部癌～
- 3) キイトルーダ添付文書 2020年8月改訂版
- 4) シスプラチン添付文書 2020年4月改訂版
- 5) フルオロウラシル添付文書 2018年11月改訂版